

会の三本の柱とし、18,383名の参加を得た。初めての県民スポーツ大会は、家庭、バレーボール他3種目を実施したが、今後、広報活動と巡回スポーツ指導等を通じ大会の普及発展を図る必要がある。

第4回東北総合体育大会は、東北各県より6千余名の選手監督を迎え、本県内13市町村を会場とし29種目の競技会が展開された。本県は、946名の選手が参加し、ハンドボール他4種目において総合優勝した。

第32回国民体育大会（夏季、秋季、冬季）は青森県下において開催された。本県は548名の選手団を派遣し、ソフトボール少年女子（県選抜）漕艇少年女子（喜多方女高）の優勝。馬術少年男子障害飛越（菅野雅敏、福商高）自転車少年男子10,000mポイントレース（小川信明、白農工高）レスリング少年男子グレコ65kg（渡部徳一郎、田島高）ウエイトリフティング成年男子100kg（後藤良一、後藤組）等の個人優勝の成績をあげた。少年男女の活躍がめざましく、昭和53年度全国高等学校総合体育大会に向けて選手強化の実績が実りつつあるものと期待される。

さらに、国際的大会に、6名の選手を派遣し、また、日独スポーツ少年団同時交流等、本県スポーツの発展と、国際親善に努めた。その他体育・スポーツ関係団体においても、それぞれの計画にもとづいて充実した活動が展開され、本県社会体育の振興を図った。

## 1 体育関係

### (1) 昭和52年度春の叙勲

氏名・住所	役職名	主な功績
海野篤之 福島市	財団法人福島県体育協会副会長・福島県野球連盟、福島県野球審判協会会長・東北野球連盟会長	第七回国体の誘致・信夫丘野球場の建設・県体育協会の法人化。県野球連盟・審判協会の設立・本県野球、東北野球の発展と社会体育の振興に尽力。

### (2) 文部大臣表彰体育功労者（52年10月7日）

氏名・住所	役職名	主な功績
木ノ戸徳重 白河市	財団法人福島県体育協会副会長・福島県自転車競技連盟会長・福島県剣道連盟会長	白河市の体育施設の整備、市民体育・スポーツの発展に尽力。県自転車連盟の再建と発展に努力、優秀選手の育成と、自転車競技の普及振興に尽力。

### (3) 福島県教育委員会表彰（52年11月3日）

#### ① 体育功労賞

氏名・住所	役職名	主な功績
遠藤久雄 喜多方市	喜多方市体育協会理事長・耶麻地区体育指導委員連絡協議会会長	永年にわたり会津地区の柔道界の指導、体育指導委員として社会体育振興に貢献、地区のリーダーとして組織の充実に尽力。
大島正夫 白河市	県自転車競技連盟理事長・（財）日本アマチュア自転車競技連盟理事・全国高体連自転車競技副部長	県自転車競技連盟の再建、優秀選手の育成、全国大会の優勝など、スズ道普及発展と国際的大会へ参加し、その活躍は極めて大である。
斎藤義男 いわき市	県軟式庭球連盟理事長	国体通算25回出場、選手・監督として活躍し本県軟式庭球の普及発展に尽力。連盟理事長として組織運営の充実発展に尽力。
荒井覚広 西郷村	学校保健協会西白河支部支部長・白河市立白河第二中学校長	学校保健協会役員として、協会組織運営の充実、管内学校保健活動充実のため尽力。関係教職員の研修、保健重視の学校経営
堀内鉄雄 郡山市	元郡山市教育委員会教育長	本県学校給食の基礎をつくる。特に農山村地域の完全給食推進に尽力。郡山、三穂田給食センターの整備、中学校の給食実現尽力。

## 7 体育施設の整備

県総合運動公園建設事業は、取り付け道路改良工事、農業水路付け替え工事、テニスコート建設工事、簡易水道工事、排水樋門新設工事等が進められ完成した。

県営萩野漕艇場は、昭和53年度全国高等学校総合体育大会漕艇競技会場となることを踏まえ、年次的に整備してきた。さん橋新增設、ランドマークポール増設、艇庫前舗装工事、艇の購入を行い大会準備の万全を期した。

野外活動センターについては、キャンプ場屋外便所の新設放送設備の改良、テントの購入を行った。

スキーセンター関連として、リフトロープの交換、ジャンプ台緑化工事、ジャンプ競技審判塔の補修工事を行った。

県営スケート場は既設防護さくらの修繕を行った。

市町村の体育施設整備は、体育施設整備費補助を得て、運動場3か所、体育館3か所、柔剣道場1か所、小型ジャンプ台1か所、市町村立小・中学校水泳プール24か所が新設された。

## 第2節 保健体育関係表彰

本県における体育、保健・安全、給食の各分野で、特に貢献のあったかたがた及び団体に対し、叙勲、文部大臣、県教育委員会、各関係団体等より表彰された、受賞者及び団体は、次のとおりである。